



カブトンの移住講座(全3話) ～移住・定住～

第1話

「移住・定住とは／期待と不安」編

●問い合わせ 総務部 経営戦略室 ☎81-2117



コロナの影響も関係して最近よく耳にする「移住・定住」について、意味や田村市の取り組みなどを全3回の連載を通して、紹介していきます。

カブトン、最近よく聞くんだけど、「移住・定住」ってなあに？

「移住」とは都道府県などをまたいで別の土地に移り住み生活のスタイルを変えることだよ。「定住」は一定の場所に住居を構えて住み着くことなんだ。例えば、オリオンちゃんが田村市から引っ越して、北海道で酪農家としておばあちゃんになるまで生活することを移住・定住というんだよ。

生活する場所を変えることは大変だよ。カブトンとなかなか会えなくなるから寂しいな。

そうなんだ。移住・定住は一大決心が必要なんだよ。

移住・定住する人は増えているの？

「地方移住や二拠点生活を検討する人は新型コロナの影響もあって、増えているみたい。ちなみに、二拠点生活とは、平日は東京、週末は田村市で生活することだよ。

田舎が人気なの？

移住の目的はいろいろあって、仕事を変えるため、開業するため、自然の中で子育てするため、それに、テレワークやリモート化が進んで、都市部に勤務していた人が地方で今まで通り仕事を続けられるようになってきたんだ。田村市に移住したい人もいるんだよ。

田村市は自然豊かで、優しいおじいちゃんやおばあちゃんがたくさんいるし素敵なおとこだよ。でも、移住・定住ってよいことだけじゃなくて、デメリットや心配なこともあるよ。

そのとおり。移住してくる人と受け入れる地域、それぞれに期待と不安感があることを知ってほしいな。

例えばどんなことがあるのか教えてよ、カブトン！

オッケー。まとめてみたよ。

区分	メリット・期待感	デメリット・不安感
移住者	<ul style="list-style-type: none"> 満員電車や渋滞のストレスがない 新鮮な野菜が買える(もらえることも) 自然豊かな環境で子育てできる 家・庭が広くなった 支援制度がある 	<ul style="list-style-type: none"> 移動や買い物が不便 地域付き合いが大変そう 冬の寒さと積雪 地域や風習、文化になじめるか 都会のような文化、娯楽的な楽しみが限定的
受入側	<ul style="list-style-type: none"> 地域がにぎやかになった 子どもが増えた(てほしい) 空き家を活用してほしい 地元の人と結婚してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 悪い人だったらどうしよう 地域行事に参加してくれるか 草刈りなど、環境整備をしてくれるか

受け入れる地域はうれしいこともあるね。田村市への移住・定住が増えるといいな。第2話(次号)へつづく…。

ブランド産品取扱店とは

田村市ブランド産品を積極的に取り扱う店舗のことです。認証産品の認知度向上と普及促進、さらには観光客を含む消費者の利便性の向上を図ることを目的としています。

取扱店は、市ホームページやパンフレットへの掲載、ブランドロゴマークの使用(店舗への認証シール貼付)などのメリットがあります。

ブランド産品取扱店の認証は、今後も継続して行います。

●問い合わせ

【取扱店】産業部 商工課
☎82-6677



田村の極 店舗名
01 けやきの森

店舗住所・連絡先
田村市船引町要田字蟹沢 214
☎62-2952



田村の極 店舗名
04 福島県観光物産館

店舗住所・連絡先
福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま 1 階
☎024-525-4031



田村の極 店舗名
03 どーも岩井沢店

店舗住所・連絡先
田村市都路町岩井沢字平蔵内 3-1
☎75-3100



田村の極 店舗名
02 有限会社ニコニコパン店

店舗住所・連絡先
田村市大越町上大越字元池 52
☎79-2216

鳥獣被害対策のいろは No.12

作成：避難地域鳥獣対策支援員
農産部 農林課 ☎81-2511

侵入防止柵の種類② 電気柵

農地や住宅を鳥獣被害から守る柵を紹介します。今回は驚かせて侵入を防ぐ電気柵です。

柵の特徴

電気柵は、通電した電線によって動物に刺激を与え、その学習効果で動物の侵入を防ぐものです。

メリット・デメリット

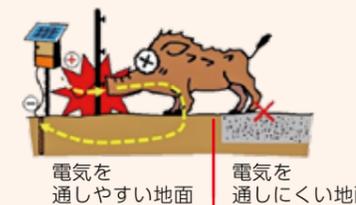
【メリット】
設置や移動の労力はワイヤーメッシュ柵に比べて小さいです。

【デメリット】
電線に草などが触れると、漏電して十分な効果を発揮できないため、こまめな刈り払いが必要です。設置場所の地面が電気を通しにくいシートやアスファルトだと効果がありません。

設置の注意点

イノシシの体は剛毛に覆われ、電気を通しにくいいため、電気を通しやすい鼻先に電線が当たるよう設置します。

電源を切っている時間があると、動物が柵に慣れてしまうため、設置している期間は常時通電する必要があります。



電気柵の設置例